

# 中部地方整備局生産性革命本部 第1回会議

## 1. 日 時

平成28年4月21日(木) 10:30~11:00

## 2. 本 部 員

中部地方整備局長〔本部長〕、副局長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、中部技術調査事務所長、名古屋港湾空港技術調査事務所長

## 3. 議 題

- (1) 「中部地方整備局生産性革命本部」の設置について
- (2) 意見交換  
中部地方整備局における取組

## 4. 議事概要

- (1) 「中部地方整備局生産性革命本部」の設置について
  - ・ 原案どおり了承
- (2) 意見交換（中部地方整備局における取組）
  - ・ i-Construction の中部ブロック本部を立ち上げたが、各県の組織も作り、関係県と連携しながら、実際の工事で活用されるよう取り組みを拡げていきたい。
  - ・ 交差点で左折レーンを1つ増やして信号を工夫することで渋滞を解消する取り組みや、下り坂から登りになる場所（サグ部）で生じる速度低下による渋滞を注意喚起によって解消する取り組みなど、あらゆる手段を使って実施していきたい。
  - ・ 渋滞対策は県や市町村、警察等の関係者と連携して検討していきたい。
  - ・ 政府のクルーズによる入国外国人数の目標は2020年までに500万人とされており、中部管内でもこの目標を達成するため、清水港以外に名古屋港や他の港でもクルーズ船を更に受け入れるための対策を実施していきたい。
  - ・ i-Construction は本格的に機械を導入した新しい取り組みであるが、その他の取り組みはこれまでも実施してきた内容である。
  - ・ 生産性向上は、少しの工夫で大いに効果を上げることができる取組

みであり、整備局をあげてこの会議を通じてそういった価値観でいろいろな事業を取り上げてほしい。

- ・ 生産性の向上といった観点では新技術の活用も重要と思う。中部地方整備局には中部技術事務所や名古屋港湾空港技術調査事務所があり、たとえば無人バックホウなどは如何に一般化していくかも重要と思う。
- ・ 新技術の活用という意味では NETIS の登録手続きを事務所でやっており、技術相談を受けながら、民間の埋もれた優れた技術や生産性を向上させるような技術等があれば積極的に取り入れていき、現場に発信して活用してほしい。
- ・ それぞれの分野で、現場の困っていることを吸い上げて、新たな技術開発に繋げてほしい。そうすることで、更にいろいろな工夫が出てくると思う。
- ・ 災害発生後、港湾施設及び背後圏の早期復旧・復興に資するため、簡便に港湾施設の利用可否を判断し、初動体制を支援するシステムを整備しようとしている。
- ・ このシステムを活用して、その情報を地域や民間企業へ即時に提供を行うことで被災時の早期復旧につながり、生産性向上に寄与するものと考えている。
- ・ 民間企業は非常に熱心に技術開発の提案をしてくるので、そういった内容を柔軟に受け入れられるような工夫をして対応してほしい。
- ・ 個々の事業の取り組みの中では、民間や学識経験者の意見を伺いながら進めていると思うのでそういった取り組みを次回は紹介したいと思う。
- ・ 維持管理の分野も人手が掛かる分野であり省力化の検討が今後重要になってくると思う。

●今後について

- ・ 本省の本部会合が 2 回開催されている中でいろいろ議論されており、整備局としてはその議論を踏まえ、現場で具体的な取り組みを進展していきたい。
- ・ 今後は、本省本部会合での議論の状況を踏まえて会議を開催する。